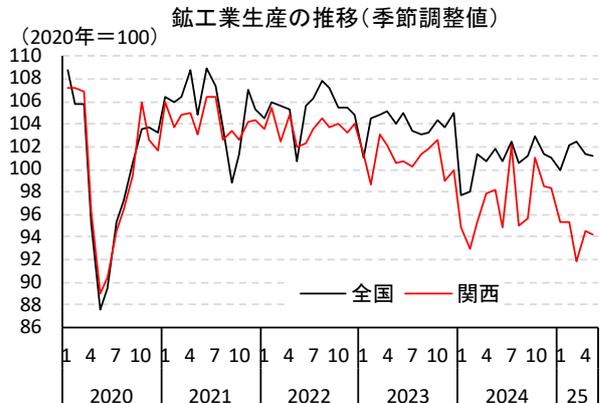
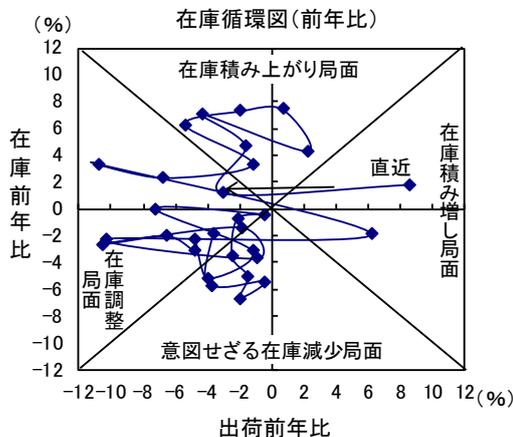
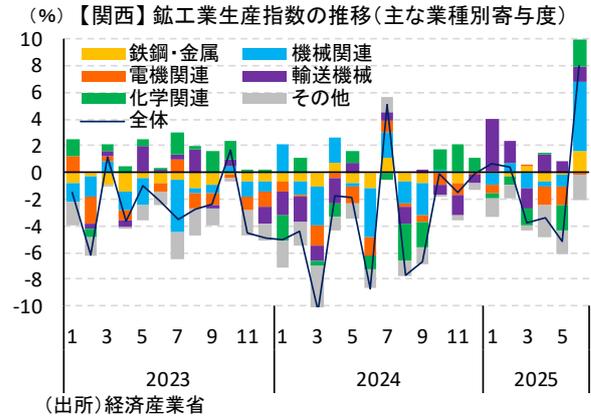
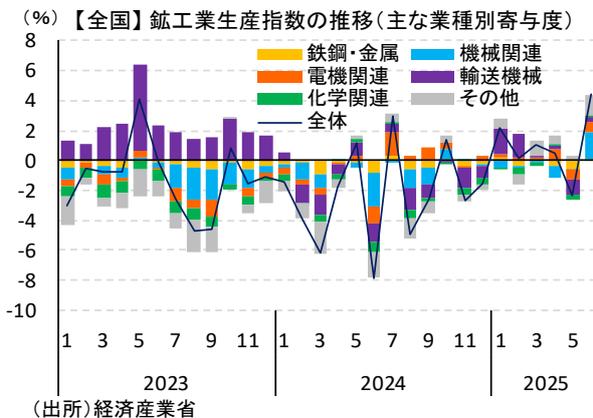


関西の景気トピックス【鉱工業指数（25年6月）】

- 25年6月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）の確報データによると、生産（原数値）は前年比で8.0%増と、4か月ぶりの増加となった。業種別には半導体製造装置を中心とした機械関連が大きく増えたほか、金属関連も好調となり、全体を押し上げる形となった。
- 在庫循環の状況を見ると、前月は景気が悪いサインとされる「積み上がった在庫を調整するため、出荷を減らす」在庫調整局面であったが、今月は「将来の更なる需要増に備えて増産し、在庫を積極的に積み増そうとする」在庫積み増し局面となった。
- 直近の関西の生産動向は、前年を下回る傾向が続いていたが、今月は大幅に増加する形となった。突発的な増加の印象がぬぐえない中、米国の15%の相互関税導入を8月に控え、その前に輸出を増やす動きと連動した部分ともみられ、今後の推移が注視される。



※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。